

CoreFocus Shim-pack Scepter™ ガードカラム (分取用)

取扱説明書

■はじめに

Shim-pack Scepter ガードカラム (分取用) は、各種官能基に対応した充填剤を高圧充填したカートリッジ式の分取用ガードカラムです。本取扱説明書をよくお読みの上、正しく使用してください。

■仕様

分取用のカートリッジカラムの製品仕様は下記のとおりです。

サイズ	製品名	化学結合基
内径：10 mm, 20 mm, 30mm 長さ：10 mm 粒子径：5 μm	Shim-pack Scepter C18	オクタデシル基 (C18)
	Shim-pack Scepter HD-C18	オクタデシル基 (C18)
	Shim-pack Scepter C8	オクチル基 (C8)
	Shim-pack Scepter C4-300	ブチル基 (C4)
	Shim-pack Scepter Phenyl	フェニル基
	Shim-pack Scepter PFPP	ペンタフルオロフェニル基

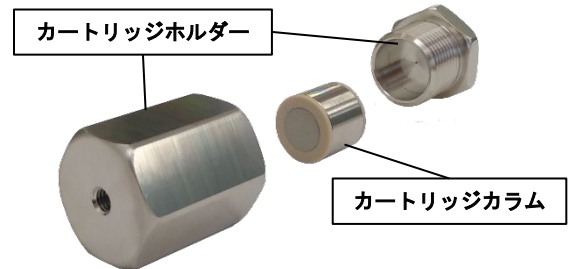
■ご使用にあたって

カラムの外観、梱包等に異常がないかを確認してください。充填剤名、粒子径、カラムサイズ等に誤りはないかを確認してください。

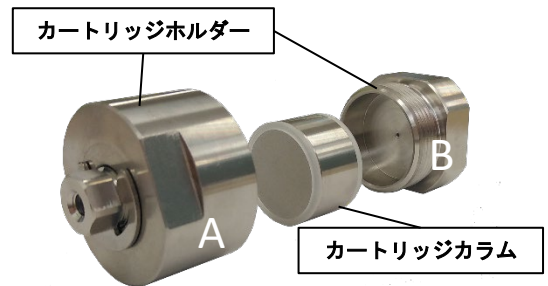
■カラムの取り付け

- カラム取り付け時には以下に注意してください。
- ・カートリッジカラム取り付け時には、別売りのカートリッジホルダーが必要です。
 - ・カートリッジホルダーは繰り返し使用できます。劣化時にはカートリッジカラムを交換してください。
 - ・カートリッジカラムの方向に指定はありません。

内径 10 mm



内径 20 mm, 30 mm



■使用方法

- 1) カートリッジホルダーの中にカートリッジカラムを入れます。内径 20 mm /30 mm のカートリッジカラムの場合は、ホルダー部 B を下側にして差し込み、A を被せるように締めていくと締めやすくなっています。なお、カートリッジカラム交換時は、B を下側にして、A を外すとスムーズです。
- 2) カートリッジホルダーを手で締められるところまで、手締めしてください。その後、下記を目安にスパナ等で増し締めしてください。

内径 10 mm	30°を目安として増し締めをします。24 mm サイズのスパナやモンキーレンチをご使用ください。
内径 20 mm, 30 mm	15°を目安として増し締めをします。内径 20 mm は 32 mm サイズ、内径 30 mm は 40 mm サイズのスパナまたはモンキーレンチをご使用ください。

- 3) メインカラムの前 (インジェクタ側) にカラムカバーなどを用いて接続します。この時の配管は注入試料の拡散を防ぐためになるべく長さの短いチューブを使用してください。

■使用上の注意

- ・基本的にメインカラムと同じ官能基のカートリッジカラムを選択してください。
- ・分取用のカートリッジホルダーは3種類あります。カートリッジカラムの内径に応じて選択してください。なお、カートリッジホルダーは別売りになります。カートリッジカラム(分取用)の内径 10 mm のものにはカートリッジホルダーセット内径 10 mm 用 (P/N: 227-31171-01) を、20 mm のものには内径 20 mm 用 (P/N: 227-31171-02), 30 mm のものには内径 30 mm 用 (P/N: 227-31171-03) を使用します。
- ・カートリッジカラムを何度も取り付けたり外したりすると気密性が失われ、液漏れする恐れがあります。
- ・カートリッジカラムの接続の方向性はありませんが、一度使用したカートリッジカラムは Flow 方向を変えないでください。方向を変えるとカートリッジカラム入口に吸着した不溶性物質がメインカラムに流れ込む恐れがあります。
- ・液漏れが確認される場合には、漏れが止まるまで徐々にカートリッジホルダーを締め付けてください。ただし、増し締めする際は、カートリッジホルダーの過度な締め付けを避けてください。カートリッジカラムが破損する恐れがあります。
- ・使用圧力は 30 MPa 程度を上限としてください。
- ・カートリッジカラムの交換時期は、圧力の上昇、ピーク形状や分離の変化などによって判断して下さい。
- ・多量の試料を繰り返し注入するとメインカラムにまで不純物が吸着し、メインカラム劣化の原因となります。カートリッジカラムは早めに交換することをおすすめします。

■テクニカルサポート

Shim-pack Scepter シリーズは厳しい品質管理のもとで製造、検査、包装、出荷されておりますが、万一不具合がございましたら、下記の窓口までご連絡ください。

ただし、寿命に関する内容、および前記取り扱い注意事項に従わないで使用して劣化したものにつきましては、保証いたしかねます。

島津シーエルシー

東日本営業課

住所：東京都台東区浅草橋5-20-8 CSタワー5F

TEL：03-5835-0120 FAX：03-5835-0124

西日本営業課

住所：大阪市東淀川区東中島1-18-22

新大阪丸ビル別館9F

TEL：06-6328-2255 FAX：06-6328-2277

<https://solutions.shimadzu.co.jp/glc/>

gsupport@glc.shimadzu.co.jp